

ヴィーザー文庫収蔵の日本人著作

著者名	略歴	No.:NiiID	文献
Utsunomiya Kanae 宇都宮, 鼎(1865-1934) <ウツノミヤ, カナエ>	1865年9月12日(慶応元年)－1934年4月19日(昭和9年)。 明治-大正時代の軍人。越後(えちご)(新潟県)出身。 明治26年海軍主計官としてドイツに留学, 財政・金融をまなぶ。帰国後海軍経理学校長, 呉鎮守府経理部長などをつとめ, 大正2年海軍主計総監となった。のち早大教授。1901年から1903年まで, 慶應義塾大学部理財科では, 「貨幣論」「銀行論」の講義を担当している。その後は, 早稲田大学専門部政治経済科において「公債論」「歳出歳入論」, 法律科・行政科において「公債論」「財政学」などの講義も行った。他にも海軍大学, 海軍経理学校, 東京高等商業学校, 学習院でも教鞭をとった。	320: BA17616607	Die Warenpreisbewegung in Japan, seit dem Jahre 1875., ihre Ursachen und ihre Einwirkung auf die Volkswirtschaft, Inaugural-Dissertation zur Erlangung der Doktorwürde der philosophischen Fakultät der Friedrich-Wilhelms-Universität zu Berlin, 1897, Leipzig
Nagai, Shinkizi 長井, 新吉(1859-1905) <ナガイ, シンキチ>	1859年(安政5年)－1905年10月(明治38年)。 徳島に藩医・長井家の三男として生まれた。日本の近代薬学の創始者であり, エフェドリンの発見者として有名な長井長義の異母弟。明治3年から6年まで大学南校で学んだ後, 明治13年にドイツ留学。Breslau大学で植物学, Halle大学, J.Kühn教授のもとで農学を修めた。明治19年(1886)末に博士の学位を取得し, 明治20年(1887)に帰朝, 東京大学講師や農務省技師などを勤めた。その後, 北海道雨龍郡雨竜町の蜂須賀農場の管理者となった。 『農学分野日本初の博士は長井新吉か』 久馬 一剛「近代日本の創造史」, Vol. 11 (2011) pp.26-27	1004: BA71809694	Die landwirtschaft Japans, ihre Gegenwart ihre Zukunft, Inaugural-Dissertation zur Erlangung der Doktorwürde einer hohen philosophischen Fakultät der Vereinigten Friedrichs-Universität Halle-Wittenberg, 1886, Halle
Yanagisawa, Y. 柳澤, 保恵(1871-1936) <ヤナギサワ, ヤストシ>	1871年2月5日(明治3年12月16日)－1936年(昭和11年)5月25日 日本の統計学者, 政治家, 実業家, 華族(伯爵)。明治27年(1894年)7月, 学習院大学を卒業した。同年10月, ヨーロッパに留学, ドイツ, オーストリア, ベルギーの大学で統計学などを学んだ。当初3年間だった留学を6年間に延長した。明治33年9月, フランスやカナダなどに立ち寄り, 帰国した。大正2年(1913年)7月, 柳沢統計研究所を設立した。貴族院議員, 東京市議会議員, 第一生命初代社長などを歴任。	429 1479	Second general census of population in Japan, X VIe Session de L'Institute International de Statistique, Rome, 1925 Inquiry for the establishment of statistics of of unemployment (or statistical investigations relating to unemployment.), X VIe Session de L'Institute International de Statistique, Rome, 1925
Suyematsu, Baron 末松, 謙澄(1855-1920) <スエマツ, ケンチョウ/ノリズミ>	1855年9月30日(安政2年8月20日)－1920年10月5日(大正9年) 明治・大正時代のジャーナリスト・政治家・歴史家。子爵。幼名は千松。帝国学士院会員。豊前国前田村(のち福岡県行橋市)に大庄屋末松七右衛門 伸子の四男として生まれる。東京師範学校中退。東京日日新聞社の記者となり社説を執筆。岳父である伊藤博文の知遇を得て, 外交官としてロンドンに赴任, ケンブリッジ大学で学ぶ。衆議院議員, 逓信大臣, 内務大臣などを歴任。1895年(明治28年)10月, 男爵。1907年(明治40年)9月, 子爵。	1540: BA29535626	Russland und Japan, Aus dem Englischen übersetzt von Dr. Franz Müller, 1904, London